

欠席者連絡メモ

8月18日 木曜日 名前()

科目	国語
授 業	p.14.15 p.19 ③ 古文プリント③ 資料問題②
宿 題	p.16.17を解いておいて ください。
プリント の有無	4

※次回の授業は開始30分前に来て下さい。補習します。

英和ぶればある

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

宇治の関白殿、あるとき、鼎殿に到つて、火を焼くところを見る。鼎殿見て曰はく、何者ぞ、左右なく御所の鼎殿に入るはと言つて、追ひ出だされて後、先の悪き衣服を脱ぎ改めて、願々として取装束して、出で給ふ。時に、前の鼎殿、遙かに見て、恐れ入つて逃げぬ。時に、殿下、装束を竿に掛けられて、拜せられけり。人、これを問ふ。答へて曰はく、「我、人に貴びらるるも、我が徳にあらず。ただ、この[]のゆゑなり。」

〔注〕*宇治の関白殿＝藤原頼通。

*鼎殿＝湯をわかす所。また、そこに仕える役人。

*左右なく＝勝手に。 *願々＝威勢のある様子。

〔正法眼蔵随聞記〕より

英和ふればある

氏名

- (1) この文章で人の言つた言葉は「」でくくられているが、もう一か所、会話文として「」をつけるべきところがある。その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。

- (2) 線①「追ひ出だされて」とあるが、だが、だれに追ひ出されたのか。文章中から書き抜きなさい。

が

に追ひ出された。

- (3) []にあてはまる言葉を、文章中から漢字二字で書き抜きなさい。

- (4) 線②「ゆゑ」を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- (5) この文章を通して作者が言おうとしていることを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人はしばしば、その外見だけで相手を判断するものだ。
イ 人からあなどられぬように身なりを整えることが大切だ。
ウ 時間や場所をわきまえ、それに合った行動をとるべきだ。
エ 徳のある人は、粗末な服装でも人から尊敬されるものだ。

小説の読解

8/18

p.14
S
p.15

基本

- (1) 少年の背後
(2) むつつりしたまま
(3) ウ
(4) もう少年と
(5) ワラの匂い。美の匂い。動物のオシッコの匂い。ヒマワリの種や鳥の餌の匂い。
(6) エ
(7) ア

○解説○

- (1) この文章中で時間帯がわかる言葉は、「空は夕焼け色」だけである。
(2) 自分もデパートの客なのに、なぜとがめるのかと不機嫌になっている少年の態度を表す言葉を探す。「むつつり」は、黙り込んで面白くなさそうにしている様子を表す。
(3) 線①より少しあとの「二週間前に……すつかりあのリスが気に入ってしまったのだが……お金では足りなかった」ということから状況をとらえ、少年が何を心配していたのかを考える。
(4) 少年が、欲しかったリスを「アノリス」という名前で呼んでいることをとらえ、なぜ「アノリス」になったかを説明した文を探す。少年が店員に言った「あのリスをください」の「あのリス」は、指さした先にいるリスを指し示した言葉で、固有名詞ではない。
(5) 「匂い」という言葉を繰り返した直後に「少年の顔がなごんでくる」とあることをとらえる。
(6) 二週間アリスを我慢してためたお金でリスを手に入れた幸せと、二週間ぶりのアリスを食べる幸せを、そのリスとともに味わっていることを読み取る。
(7) 最後の「空は夕焼け色にかがやいていた」が、少年の幸福感を象徴している。

短歌・俳句の鑑賞

p.19

標準

○解説○

- 夏
(1) 何も象徴していないし何も暗示していない
(2) 人間の心
(3) 例 何の本質を感じたとおりに表現しているところ。
(4) 例 あなだの言葉で答えよう
△表現 一枚の大きな桐の葉が、秋の日差しを受けながら、ゆつくりと静かに落ちていく様子がとらえられている。
(1) Aは「てんたう虫」、Bは「滝」が夏の季節となっている。
(2) 直後の段落に「滝の普遍的な現実を表現しただけ」とあることに着目する。
(4) A・Bの句は、「目で見て事物をありのままに作る」ということの例としてあげられていることから考える。

(7) I 3 II 4

(f) (携帯機器を使う場合は、) 一日の使用時間を決めて節度のある使い方をするとともに、携帯機器との関わり方全般について家庭内で話し合い、ルールをきちんと決めることが(大切である。)

現代語訳

- (1) 何者ぞ入るは
(2) (宇治の) 関白殿(殿下)・鼎殿
(3) 装束
(4) ゆえ
(5) ア

宇治の関白殿が、あるとき、鼎殿に行つて、火をたくところを見ていた。鼎殿の役人が(これを見て、「何者だ、勝手に御所の鼎殿に入るのは。」と言つて(関白殿を追い出したのだが)、追い出された後、(関白殿は)さっきの粗末な衣服を脱ぎかえて、(関白としての)威勢があるように見える装束を急いで身につけ、(鼎殿に)おでましになった。そのときに、さっきの鼎殿の役人が、遠くから(関白殿を)見て、恐れ入つて逃げてしまった。そのとき、(関白)殿下は、装束を竿にお掛けになつて、拝みなさつた。人が、これを見て、その理由を尋ねた。(関白殿が)答えて言うことには、「わたしは、人に尊び重んじられるが、(それは)自分の徳によるものではない。ただ、この(立派な)装束によるものである。」と。

解説

- (2) 前の部分から、鼎殿で働く役人が、相手が関白だとは知らずに、鼎殿に入った関白をとがめていることを読み取る。
- (3) 鼎殿の役人は、関白の着ていたものによって身分の高低を判断し、とがめたり恐れ入つたりした。このことから、関白は、自分が尊ばれるのは「装束」によるものと知つたのである。
- (5) そのとき身につけていたものの違いによって、役人が関白に対する態度を変化させたことをおさえて考える。

高校受験 漢字テスト 書き取り-9

1 おばのアンピをたずねる。

2 作品を美術室にテンジする。

3 作者の制作イト。

4 事故による交通キセイ。

5 日本コユウの文化。

6 案に対してイギをとなえる。

7 ケイカを観察する。

8 イチジルしい経済成長。

9 彼を生徒会長にオす。

10 少しもハブくところがない。

11 アヤマった判断。

12 約束をコトワる。

13 消費税がフクまれた値段。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

14 物語のハイケイにある事件。

15 ピカソのケツサク。

16 キンペンさが、彼の長所だ。

17 シセイ正しくする。

18 作品をヒヒョウし合う。

19 古代文化にカンシンをもつ。

20 満員で一人も入るヨチがない。

21 兄は母をムシして出かけた。

22 ウチュウのなぞを探る。

23 厳しい言葉でチュウコクする。

24 合理的なハンダンをくだす。

25 彼とはタイショウ的な性格だ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

高校受験 漢字テスト 読み取り-9

- 1 現代を象徴する作品。
- 2 田舎で平穏な毎日を送る。
- 3 昆虫の書物に魅力を感じる。
- 4 人知を超越する。
- 5 まだ在庫に余裕がある。
- 6 確かな証拠を示す。
- 7 川一つ隔てた隣の町。
- 8 才能の不足を嘆く。
- 9 悟りの境地に達する。
- 10 苦しくても耐え忍ぶ。
- 11 お忍びのお供をする。
- 12 近日中に催される句会。
- 13 社会の裏に潜む闇。

しょうちよう	へいおん	みりよく	ちようえつ	ようゆう	しょうこ	へだ	なげ	さと	た	しの	もよお	ひそ
--------	------	------	-------	------	------	----	----	----	---	----	-----	----

- 14 優勝への唯一の不安材料。
- 15 規則を遵守する。
- 16 拍子をとる。
- 17 柔軟な態度を見せる。
- 18 海浜公園を訪れる。
- 19 文明を拒んでいる部族。
- 20 問題を解決するように促す。
- 21 社会の矛盾に憤りを覚える。
- 22 憩いのひととき。
- 23 大雨で山が崩れてしまった。
- 24 高価な絵画を手に入れる。
- 25 二人とない知己を得た。

ゆいいつ	じゅんしゅ	ひようし	じゅうなん	かいひん	こば	うなが	いきどお	いこ	くず	かいが	ちき
------	-------	------	-------	------	----	-----	------	----	----	-----	----

高校受験 漢字テスト 書き取り-9

- 1 おばのアンピをたずねる。
- 2 作品を美術室にテンジする。
- 3 作者の制作イト。
- 4 事故による交通キセイ。
- 5 日本コマウの文化。
- 6 案に対してイギをとなえる。
- 7 ケイカを観察する。
- 8 イチジルしい経済成長。
- 9 彼を生徒会長にオす。
- 10 少しもハブくところがない。
- 11 アヤマった判断。
- 12 約束をコトワる。
- 13 消費税がフクまれた値段。

含	断	誤	省	推	著	経	過	異	議	固	有	規	制	意	図	展	示	安	否
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 14 物語のハイケイにある事件。
- 15 ピカソのケツサク。
- 16 キンベンさが、彼の長所だ。
- 17 シセイ正しくする。
- 18 作品をヒヒョウし合う。
- 19 古代文化にカンシンをもつ。
- 20 満員で一人も入るヨチがない。
- 21 兄は母をムシして出かけた。
- 22 ウチュウのなぞを探る。
- 23 厳しい言葉でチュウコクする。
- 24 合理的なハンダンをくだす。
- 25 彼とはタイショウ的な性格だ。

対	照	判	断	忠	告	宇	宙	無	視	余	地	関	心	批	評	姿	勢	勤	勉	傑	作	背	景
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---